

浦添市ボランティア連絡協議会 団体紹介  
 (ホームページに掲載許可の連絡があった団体のみ載せています。)

団体名	浦添市更生保護女性会		
代表者名	銘苅 良子	団体設立年	昭和54年2月
活動場所	男女共同参画推進ハーモニーセンター		
活動内容	青少年健全育成及び非行防止活動、子育て支援、ミニ集会、社明大会推進、施設慰問及び行事の参加、保護司活動への協力、会員研修及び九州更生保護女性大会への参加		
活動日	月6回	会員数	55名

特色ある活動（思い出、印象的な活動等）

浦添市更生保護女性会は、非行や犯罪をなくし過ちを犯した人たちの立ち直りを支援するため立ち上がったボランティア団体です。活動の源流は、明治、大正期にさかのぼりますが、現在の組織は戦後の荒廃した社会にあって青少年を守ろうという熱い志をもった女性たちによって始められました。現在では、全国規模の更生保護団体として20万人余の会員が自発的・自主的に地域性を活かしながらボランティア活動をおこなっています。犯罪予防や子育て支援、保護司活動への協力、夜間補導、朝の挨拶運動等重要な活動です。

近年子どもの貧困や子どもの居場所作り等課題も山積みしています。週2回子ども食堂のお手伝い、夏休みは児童センターと連携し週2回児童生徒とのおにぎり作りをしました。

今後とも各団体と連携し、誰もが平等に尊重される安心安全な街づくりを目指し、頑張っていきます。



団体名	浦添市婦人連合会		
代表者名	照屋 洋子	団体設立年	昭和23年
活動場所	浦添市安波茶2-3-5 ハーモニーセンター2F		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務部：行政、各種団体への協力事業</li> <li>・レク体育部：てだこまつり参加、盆踊り、演芸のつどい、老人婦人合同運動会</li> <li>・生活部：環境、ゴミ問題、リサイクル、料理講習会等生活にいかせる学習会</li> <li>・交通安全母の会：地域の新入児童、幼稚園、保育園等において交通安全指導</li> <li>・結核予防婦人連絡協議会：結核予防啓蒙活動</li> </ul>		
活動日	随時	会員数	300名

特色ある活動（思い出、印象的な活動等）

私ども婦人連合会は浦添市内の地域婦人会の総意を発揚し、情報交換等で連携を図り、男女共同参画社会の推進、青少年の健全育成、高齢化社会の福祉増進、環境美化活動等を目的に活動を実施すると共に、浦添市ボランティア連絡協議会加盟団体として、ボランティア促進事業（赤い羽根共同募金、フリーマーケット、研修会、交流会、ボランティアまつり等々）に積極的に関わり活動しています。

又、交通安全母の会として、4月には交通安全キャラバン隊として初々しい小学一年生や園児が安全に通学できるように交通安全指導に取り組み、地域の美化整備に花を育て、結核予防婦人連絡協議会として街頭啓蒙活動等々地域のために積極的に、仲間と楽しく明るく活動を展開しています。

少子高齢化が進行する今日、ボランティア連絡協議会の果たす役割は、益々重要なものとなると思います。婦人連合会も貴協議会と連携を深めていきたいと思います。



団体名	中部南保護区保護司会浦添市支部		
代表者名	岩切 喜一郎	団体設立年	昭和62年
活動場所	浦添市社会福祉センター2階 浦添市仲間1-10-7		
活動内容	1. 支部活動 ・支部定期総会 ・支部定例会（偶数月） ・支部自主研修会 ・第3金曜日各中学校夜間街頭指導 ・浦添市ボランティア連絡会 2. 中部南保護区保護司会活動 ・定期研修会（第1~4期） ・社会を明るくする運動大会 ・社会を明るくする運動作文コンテスト ・自主研修会・更生保護大会		
活動日	偶数月の第2木曜日	会員数	40名

#### 特色ある活動（思い出、印象的な活動等）

保護司は保護観察所からの委託で保護観察の対象者の更生を助けること及び、矯正施設（刑務所、少年院）にいる方々の帰住先の調整を主任務としております。

研修会や定例会では更生保護に関する法令や事例の学習や意見交換を行い、より実りのある対象者への処遇活動ができるようにしております。

また、犯罪予防活動として毎年7月は法務省主唱の社会を明るくする運動強調月間として、自治体の首長・議会議長・教育長あて「犯罪のない社会をつくる」よう呼び掛ける総理大臣・県知事・県教育長からのメッセージ伝達を行ったり、中部南保護区保護司会と管内5市町村持ち回りの自治体主催で「社会を明るくする大会」を開催しております。児童生徒には「社会を明るくする作文コンテスト」への応募を呼びかけ、更生保護普及に努めております。

てだこ祭りや、成人式での青少年健全育成市民会議からの巡回指導、ボラ連の事業へも積極的協力して支部活を推進しております。

長年保護司活動をしてこられた保護司さんが叙勲や褒章等を受章された際には保護区保護司会で祝賀会等を催し関係者で祝っております。



団体名	一般社団法人浦添市身体障がい者福祉協会		
代表者名	牧志 正人	団体設立年	昭和45年4月
活動場所	浦添市仲間1-10-7 浦添市社会福祉センター内		
活動内容	当協会は、昭和45年、数名の仲間たちと行政を含む地域の福祉関係者の協力のもと設立し、会員の社会参加促進や親睦交流、身体障がい者スポーツの振興、就労や余暇活動支援などの活動を行い、平成15年11月より浦添市と西原町の委託を受け障害者生活支援事業所「ピアサポートセンターほると」（現、指定一般・特定、指定障害児相談支援事業所）を開所、その後の平成17年3月には社団法人格を取得、浦添市の指定管理者制度を活用し、県内唯一の障害者教養文化体育施設「サン・アビリティーズうらそえ」の管理運営を受託、また平成25年度に就労継続支援B型事業所「障がい者就労支援センターすばる」を開所し、現在に至っております。		
活動日	月曜日～金曜日 午前9時～午後6時	会員数	194名

#### 特色ある活動（思い出、印象的な活動等）

当協会の年間をとおした主な活動は、沖縄県身体障害者グランドゴルフ大会への参加、沖縄県身体障害者スポーツ大会への参加、会員親睦ボウリング大会開催、沖縄県身障者福祉展へ作品出展、沖縄県身障者福祉大会への参加、会員親睦年末交流会開催、社会見学（ピクニック）開催、視覚障害・聴覚障害者部会活動支援などを行っています。



その中でも、特に印象的で盛り上がる活動としては沖縄県身体障害者スポーツ大会への参加があり、毎年選手団を結成し選手40名前後を選考、今大会に望んでいます。近年の成績としては団体で3位～4位と優勝から遠のいてはいますが、数年前までは団体優勝7回連続の偉業を達成したこともあり大変盛り上がった時代もありました。



幸いにして浦添市内には当協会が管理運営している障害者教養文化体育施設サン・アビリティーズうらそえという施設があり、日頃から障がい者スポーツ

は盛んな地域です。県大会のみならず毎年といって良いほど全国障害者スポーツ大会にも沖縄県代表として個人が参加し上位の成績を納めています。

私たちの今後の目標としては、この県身体障害者スポーツ大会において真紅の優勝旗を再び浦添市に持ち帰るべく選手の若返りと練習の強化を図り、障がいの有無に関係なく浦添市全体のあらゆるスポーツの発展に貢献すべく活動を進めてきたいと考えています。



団体名	浦添市女性団体連絡協議会		
代表者名	玉城 智津子	団体設立年	平成 5 年 8 月
活動場所	浦添市市民協働・男女共同参画推進ハーモニーセンター		
活動内容	各種女性団体が連絡を密にし、相互の親睦を図り、関係機関・団体などと密接な連携を保つとともに、女性の地位向上、豊かで明るい男女共同参画社会づくりに寄与する。		
活動日	定例会 毎月第 1 金曜日	会員数	159 名

特色ある活動（思い出、印象的な活動等）

浦添市で活動する4つの団体の連絡協議会として、年間を通して活動目的に沿う各種事業に取り組んでいます。大切にしている活動に会員の情報交換と資質の向上のための研修があります。

今年度は6月に野外研修として南風原町にある沖縄公文書館にて「女性たちの沖縄～公文書館資料にみる女性のあゆみ～」を見学、担当者に展示資料の解説をしてもらいました。また、南風原文化センターの常設展示を見学して平和の大切さをあらためて学ぶことができました。

令和6年に設立30周年事業を行うことから10月に資金造成事業として「コザママうたってコザのママさんたち」映画上映を行いました。11月には3年ぶりになる女性の翼の派遣事業に参加した会員による研修報告会も行いベトナムでの研修成果を発表してもらいました。

令和6年に設立30周年事業に向けて現在会員一丸となって活動しております。



団体名	N P O 法人 ライフサポートてだこ		
代表者名	嵩原 満	団体設立年	平成 14 年
活動場所	ライフサポートてだこ 浦添市宮城 3-1 3-12		
活動内容	<p>高齢者、障がい児（者）や子どもとその家族、または一般市民に対して介護・福祉提供する事業や街づくりに関する活動</p>   <p>デイサービスと子ども達との交流会</p>		
活動日	毎日	会員数	職員数 64 名

団体名	音訳ボランティアグループ つわぶき		
代表者名	屋良 百合	団体設立年	平成 4 年
活動場所	浦添市社会福祉センター内		
活動内容	<p>「つわぶき通信」の音訳を中心に「つわぶき通信」・「うらそえ社協だより」・「浦添市広報」等を視覚障害者へ情報を提供しています。</p> <p>又、交流活動やレベルアップを目的とし、勉強会等を行っています。</p>		
活動日	随時（定例会・勉強会は2ヶ月に1回）	会員数	21名

#### 特色ある活動（思い出、印象的な活動等）

音訳ボランティアグループつわぶきは、創立32年、メンバー23名で「つわぶき通信」の音訳を中心に活動中です。

「つわぶき通信」は新聞記事から、ラジオやテレビでは流れにくいニュースやコラムを音訳し、利用登録者へ届けています。

令和4年度に「視覚障害者等のために情報を提供する事業を行う法人」として登録したことにより、全国紙の記事の音訳もできるようになりました。

創立20年目の活動を記念として、新星出版の琉球王統史1「舜天／英祖」の中から「英祖」を音訳したことに続き、創立30周年では「舜天」を会員一丸となってCDに音訳し、利用登録者や盲学校へ提供しました。

今後も利用登録者や市内外の音訳ボランティアグループの方々と交流しながら、活動の幅を広げていけたらと考えています。



団体名	ボランティアサークル クランクス		
代表者名	嘉数 貞夫	団体設立年	昭和63年7月
活動場所	浦添市ボランティア市民活動センターなど		
活動内容	日頃、遊びを通してお互いの親睦を図り、障がいの有無に関わらず横のつながりを大切にした仲間づくりを目指し、常に「共に生きる」をテーマに社会活動に進んで参加していく		
活動日	毎月第1火曜日（令和5年度）	会員数	25名

特色ある活動（思い出、印象的な活動等）

クランクスとは・・・「変な奴ら」、「おかしな奴ら」という意味！

クランクスは昭和63年7月に設立。設立35年になります。

クランクスの活動は、障がいの有無を問わず「遊び」を通して、ノーマライゼーション思想（障がい者が他の人々と等しく生きる社会のこと）の社会・地域づくりなどを目指し日々活動しています。

これまでの活動としては、バリアフリーマップづくりやその調査、先進地視察研修（アメリカ合衆国ハワイ州・中国・モンゴル等）、沖縄本島縦断車いす24時間マラソン（国道58号線のバリアフリーチェック）、身障者車いす専用駐車場調査（浦添市内の大型ショッピングセンター、スーパー等）、車いすサッカー大会参加、交流体験キャンプ（川や海）など開催しています。



団体名	沖縄県車いすサッカー協会		
代表者名	嘉数 貞夫	団体設立年	平成18年1月
活動場所	浦添市ボランティア市民活動支援センター等		
活動内容	県内において、電動いすサッカー及び手動車いすサッカーの競技を行う団体を代表して、競技の普及、拡大、発展等を図ることを目的として活動を行っています。		
活動日	隨時	会員数	12名 (役員及び事務局)

特色ある活動（思い出、印象的な活動等）

当会は、車いすサッカー競技大会を毎年2回、浦添市ボランティア連絡協議会と共に開催を行っており、令和5年12月3日には「第21回浦添市車いすふれあいサッカー大会」を実施しました。

大会開催以外では、学校等で車いすサッカートリニティ（普及事業）を実施、平成30年に沖縄県障がい者スポーツ協会と連携して「南風原中学校」及び「糸満中学校」で実施をしています。また、関係団体イベントへの連携、参加協力として浦添ボラ連事業及び浦添市社会福祉協議会事業への参加協力、「沖縄県障がい者サッカー特別委員会」事業にて車いすサッカートリニティを随時実施しています。

今後も当会は、浦添で誕生した「ユニバーサルスポーツ」車いすサッカー競技の普及、拡大並びに大会の開催を行っていきます。



団体名	柳清本流紋園臯玉乃会神田さえ子琉舞研究所		
代表者名	神田 さえ子	団体設立年	平成3年
活動場所	神田 さえ子 琉舞研究所 浦添市内間		
活動内容	琉球新報社主催の子供舞踊大会出演・浦添市てだこまつり出演 老人ホーム慰問年8回・イベント出演等		
活動日	月・木曜日	会員数	5名

特色ある活動（思い出、印象的な活動等）

平成3年に琉舞研究所を開設し26年、内間を拠点とし地域の行事、保育園での琉舞指導、老人ホーム慰問、てだこ祭り、文化祭、子供舞踊大会等県内外、海外と活動しています。



平成29年8月には、琉球新報社主催の古典芸能コンクール新人賞部門に2名の弟子が受賞いたしました。

今後とも、沖縄の文化、芸能活動をとおし、福祉活動にも力を入れていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

団体名	高宮城琉舞練場		
代表者名	高宮城 ヨシ子	団体設立年	平成3年
活動場所	高宮城琉舞練場、牧港公民館、老人福祉センター		
活動内容	当練場、牧港公民館、老人福祉センターにおいて、場所と時間帯、稽古内容、芸術等も異なり、着物着付け、季節のご節供等もあわせて指導している。		
活動日	月・木・金曜日	会員数	40名

特色ある活動（思い出、印象的な活動等）

私事ではございますが、入会間もない頃に「ボラ連チャリティー芸能祭」に琉球舞踊、松竹梅で出演させて頂きました。長年共に踊りに取り組んできた仲間達と練習に励み舞台を踏んだことは今でも良き思いとなっています。毎年、チャリティー芸能祭等の舞台に参加でき、心から感謝申し上げます。

また、芸を通して地域の親睦を深め、生きがい作りや活性化に広げています。



団体名	沖縄県立 浦添高等学校ボランティア部		
代表者名	校長 城間 敏生	団体設立年	昭和58年4月
活動場所	浦添高等学校他		
活動内容	<p>ボランティア部の生徒や他の部活と兼任している生徒が浦添市社会協議会をはじめとする各福祉団体の活動へ参加している。</p> <p>長期休業期間（夏休み、冬休み、春休み）では内間公民館でのイベント活動ボランティアを行って、地域の子供たちと交流を行っている。</p> <p>沖縄県高校文化連盟社会活動部門に主催する「高校生ボランティア活動肝清祭」参加し見聞を深め、必要ないろいろな知識を得ることができた。</p>		
活動日	随時	会員数	約50名

#### 特色ある活動（思い出、印象的な活動等）

登録している生徒の中には、沖縄県青少年赤十字高校協議会の役員として意欲的に活動している生徒もいます。副会長として県外のスタディーセンターに派遣された生徒もいました。他校の生徒と共に、話し合ったり活動したりする中で、成長していく姿が見られます。

今年の全国高校総合文化祭宮城大会には、ボランティア部門に県の代表の一人として派遣されました。その生徒は、次のような感想を書いています。

「私は今回総文祭のボランティア部門に参加して、東日本大震災が起きた時、現地ではどのようなことが起きていたのか、また、どのようなボランティアをしていったのかを詳しく知ることができました。班で分かれて行ったグループ学習では地震・津波が起きた1年後に募金・寄付活動や泥かき、仮設住宅への支援というボランティアをするべきという考えも出ました。遠く離れた地域からでも少しずつでも力になれるることをし、復興に繋げていくことが大切だと思います。」



団体名	沖縄県立 陽明高等学校ボランティア部		
代表者名	校長 宮里 哲	団体設立年	平成12年
活動場所	陽明高等学校他		
活動内容	・福祉施設での介助や手伝い ・イベント等の開催・運営補助 ・募金活動	・小学校での学習支援ボランティア ・ペットボトルのキャップ回収、リサイクル活動	
活動日	随時		会員数 30名

特色ある活動（思い出、印象的な活動等）

「ボラ連芸能祭」には、毎回、様々な形で参加し、携わらせて頂いております。「芸能祭」の開催補助・ボランティアスタッフとしてはもちろんのこと、出演者としてもダンス部による創作ダンスの披露、島唄ユニットによる島唄ライブ、授業で習得した手話ソングなど、生徒の活動や成果を発表する機会を頂いて、感謝しております。その他にも、司会や美術部によるパンフレットのデザイン作成など、「芸能祭」を通して生徒たちの個性や特技を発揮させて頂きました。「芸能祭」以外でもフリーマーケットのお手伝いやフードバンクの受付など、楽しみながら生徒たちも活動に参加し、それぞれの活動を通じて人間関係やコミュニケーション能力を養うことができ、成長にもつながったと思います。

